



採用試験

市職員（事務職・消防職）

【日時】 9月20日(日)8時45分から

【場所】 舞鶴市役所

【受付期間】 8月3日(月)から8月28日(金)まで

※土・日曜日は除く。郵送の場合は、8月28日(金)17時15分までに到着したものに限り。

【申し込み方法】 申込書（市役所受付、人事課、西支所総務係、加佐分室、消防本部、東・西消防署で配布。市ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、事務職は人事課、消防職は消防本部総務課へ。詳細は、試験案内でご確認を。

職種	採用予定者数	受験資格	第1次試験
事務職	初級 若干名	平成4年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で、高等学校（これと同程度のものを含む）卒業又は卒業見込みの方	【教養試験】 公務員として必要な一般知識と教養について択一式で実施 【適性検査】 事務適性検査を実施
消防職	上級	昭和62年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方で、大学（これと同程度のものを含む）卒業又は卒業見込みの方	【教養試験】 公務員として必要な一般知識と教養について択一式で実施 【適性検査】 消防適性検査を実施
	中級	平成2年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で、短期大学（これと同程度のものを含む）卒業又は卒業見込みの方	
	初級	平成4年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた方で、高等学校（これと同程度のものを含む）卒業又は卒業見込みの方	
◇日本国籍を有する方 ◇舞鶴市に居住できる方			

▶ 事務職に関するお問い合わせは、人事課（☎66・1066）へ。
消防職に関するお問い合わせは、消防本部総務課（☎66・1090）へ。

市民病院職員

【日時】 9月20日(日)8時30分から

【場所】 市立舞鶴市民病院（倉谷）

【受付期間】 7月27日(月)から8月28日(金)まで

※土・日曜日は除く。郵送の場合は、8月28日(金)17時15分までに到着したものに限り。

【申し込み方法】 申込書（市民病院総務課、市役所受付、西支所総務係、加佐分室で配布。同院ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入し、市民病院総務課へ。詳細は、試験案内でご確認を。

職種	採用予定者数	受験資格	試験内容
看護師	若干名	昭和45年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で、看護師資格を有する方又は平成27年度中に資格取得見込みの方	【作文】 当日に課題を指定 【面接】
准看護師		昭和45年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた方で、准看護師資格を有する方又は平成27年度中に資格取得見込みの方で、高等学校卒業資格以上の方	【作文】 当日に課題を指定 【面接】

▶ 看護師、准看護師に関するお問い合わせは、市民病院総務課（☎60・9020）へ。



平成28年4月採用

市職員を募集

市役所の役割は、市民の皆さん一人ひとりに「住んでよかった」、「これから住み続けたい」と感じていただけるよう、生活や仕事などに関わるさまざまな分野で、条件や環境を整えることです。
地域で今、何が起きているのか、市民の皆さんは、何を望んでおられるのかを常に考え把握し、地域の抱えるさまざまな課題の解決に向けて市民の皆さんとともに知恵を絞り、汗をかくことができる人材を求めています。

市役所が目指す組織像

市民に信頼され、市民の役に立つ市役所

市職員が目指す職員像

- ◇市民の中に入って、地域の課題を見つけ、市民とともに考え、解決に向け積極的に行動する職員
- ◇職員一人ひとりが、専門性や得意分野を持ち、自らの特性も最大限に発揮し、市民の信頼に応える職員
- ◇社会情勢の変化に即応した改革意識を持ち、仕事への情熱と柔軟な思考のもと、市役所と仕事を変革できる職員

先輩職員からのメッセージ



今春、高校を卒業して入庁しました。先輩は優しく、丁寧に仕事を教えてくださいます。皆さんと一緒に働ける日が楽しみです。
今春、高校を卒業して入庁しました。先輩は優しく、丁寧に仕事を教えてくださいます。皆さんと一緒に働ける日が楽しみです。
今春、高校を卒業して入庁しました。先輩は優しく、丁寧に仕事を教えてくださいます。皆さんと一緒に働ける日が楽しみです。



会計課
杉山遥妃(19才)

知識を増やし
信頼される職員に



救急や災害の現場出動、防災訓練、防火指導などが私の仕事です。現場では迅速な行動が求められますが、学んだ知識や訓練で得た技術を最大限に発揮できるように、気持ちを落ち着かせて行動することを心がけています。
救急出動した際、胸骨圧迫を実施し、市民お一人の命を救うことができました。救急や防災に関わる専門性をもっと深め、多様化する災害にも対応できる消防職員になりたいです。ふるさと舞鶴のため、ともに力を合わせて頑張りたいです。



東消防署
梅原克仁(25才)

市民の生命と
財産を守り抜く



昨年5月、市民病院は療養病院として再スタートしました。患者様の診療に関わるケアや日常生活の援助などが私の仕事です。
患者様の状態に合わせた看護計画により、病状が良くなれば「ありがとう」の言葉をいただいた時が、この仕事を選んで良かったと感じる瞬間です。今後とも、さまざまな資格取得にチャレンジするなど看護のスキルアップに努めたいと考えています。
チームワークもよく、やりがいのある職場です。男性の看護師も大歓迎です。



市民病院看護部
齊藤泰彦(34才)

患者様が安全で安心して
療養できるように